



# タウンサポーター

下都賀地区地域教育コーディネーター養成研修

県では、各教育事務所管内において、地域教育コーディネーターの養成研修を継続的に実施しています。今年度も管内の市町教育委員会、並びに小・中・義務教育学校の御理解と御協力の下、16名の皆様に御参加いただきました。研修終了後、参加者が地域教育コーディネーターとして活躍していただけるよう、「コーディネーターの役割」の説明、現地研修、ミニシンポジウム等の内容を交え、全4回の研修を実施しました。



ミニシンポジウムによる取組の紹介



参加者の情報交換

特に、「ミニシンポジウム」では、栃木市東陽エリア地域コーディネーターの茂呂 真理 氏、栃木市教育委員会事務局生涯学習課の早乙女 豊 氏にシンポジストとして御協力いただき、これまでの御経験をもとに、コーディネーターとしての具体的な取組を紹介していただきました。参加者にとっては、今後の活動のヒントを得たり、コーディネーターに対する不安の解消につながったりしたようです。学校と地域をつなぐコーディネーターの存在はますます重要です。参加者の皆様の今後の活躍を期待しています。

下都賀地区ふれあい学習ネットワーク

2月2日(金)、藤岡文化会館並びに藤岡公民館を会場に「下都賀地区ふれあい学習ネットワーク」を実施しました。今年度は、子どもの健やかな成長を育むために地域連携教員と地域で活躍している団体等がつながる機会となるよう、地域連携教員研修、地域教育コーディネーター養成研修を兼ねて実施しました。

前半は、「壬生町子育て支援グループポケット代表 岡本 恵氏」、「野木町公民館友沼学区分館長 秋元 吉行 氏」、「県立栃木特別支援学校 早乙女 陽一 氏」に事例発表をしていただきました。後半は、市町ごとに交流会を実施しました。参加者からは、「様々な立場の方の熱意あふれる発表は、大変参考になり視野が広がった。」「学校関係者以外のお話を聞くことができ、とても興味深かった。」等の感想が寄せられました。



地域連携教員と地域団体等との交流会

参加者同士の中で新たな出会いが生まれ、今後のネットワークの構築につながる有意義な研修の機会となりました。

## 地域をつなぐ

栃木市 ボランティア交流会で活躍を深める

2月3日(土)、和やかな雰囲気の中で「とちぎ未来アシストネット第3回ボランティア交流会」が開催されました。コーディネーターや学校支援ボランティアなど、アシストネット事業の関係者170名が参加しました。

この集いは、各地域の地域コーディネーター代表であり、推進委員会の委員である10名が実行委員となり、市教育委員会やPTA連合会と連携して計画を進めてきました。

実践事例発表を中心とした第1部では、皆川地域の地域コーディネーター 関口 浩子 氏と大平中央小学校の学校コーディネーター 曾根 美幸 氏による活動紹介。情報交換と懇親を中心とした第2部では、各地域内での交流と他地域間での情報交換を行いました。



アシストネットを支える人たちの情報交換

地域教育協議会や推進委員会等でアシストネットを支える人たちの情報交換の必要性が挙げられており、この交流会は、それらに答えたものとなりました。

## ふれあい学習

下野JLC 会員募集中!

今年度、下野JLC(ジュニアリーダーズクラブ)は会員が全員高校生になり、新たな仲間を求め、会員募集にも力を入れています。そんな中、2月10日(土)・11日(日)に開催された南河内公民館まつりに参加しました。サンドイッチと駄菓子販売したところ、小さいお子さんから高齢の方まで楽しそうに駄菓子を選んで買っていただき、バルーンアートのプレゼントも喜んでいただけました。また、バルーンアートを教えてほしいという声をいただき、参加者と一緒に製作を楽しみました。下野JLCのPRができたのではないかと思います。



好評の駄菓子販売



バルーンアートのプレゼント

3月には研修会を開催する予定です。会員募集も兼ね、小学校6年生と中学生にチラシを配布し、一緒に活動できたらと考えています。新しい仲間をどんどん受け入れて、今後も楽しく活動していきます。

## 壬生町子育て支援グループポケット

未来のママに願いを込めて...

年末が迫る12月26日(火)・27日(水)に「ハート♡る。る 2days~未来の自分のための心あたたまる2日間~」と題して、ボランティアスクールを開催しました。

生命・福祉・保育・調理の4枠を設定し、調理の分野では、学校栄養士の先生方・中学生26名・私たちポケットのメンバーと一緒に学びました。壬生町出身のママになるからには、覚えておきたい干瓢のもどし方。「和・洋・中」何にでも使えるにほしだ。限られた時間内に、なんと14品が



「和・洋・中」の調理に挑戦

盛り付けは、ホテルのバイキング方式に。料理がおいしかったのはもちろん、「他の中学生とふれ合えて良かった。」「ポケットさんや先生方が優しく教えてくださったので、今まで料理に関心が無かったけれど関心もてるようになった。」など、嬉しい声が次々。できることを今、少しでも伝えていきたいですね!



完成した料理をバイキング形式で試食

## 県立高校等の取組を紹介します! 栃木工業高等学校

栃工テクノボランティア活動

本校では「福祉と工業を結びつけた教育」の一環として、平成24年度より「栃工テクノボランティア活動」を実施しています。これは、生徒たちが日頃培ったものづくりの技術を生かして地域に貢献することを目的とした活動です。

毎年6月、栃木市内の小中学校を対象に、遊具・教具・教材等の製作や修繕の要望調査を行い、可能なものについて修繕活動を展開しています。本年度は、6つの小中学校から依頼があり、ライン引きやマイク修理など、半数ほどの依頼に対応することができました。



ボールかこの修理



電源ドラムの修理

あくまで、生徒の学習の一環として行う活動のため、すべての要望にはお応えできないのが実情です。しかし、実施した生徒たちは皆さんから感謝されることで、自分たちの技術により誇りを持つようになります。今後も、御協力をお願いいたします。

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の再生・充実を目指します。